

／ 複数業界みておこう！ ／

就活の第一歩

業界研究 ノート

doda[!] キャンパス

業界研究の
やり方
解説つき！

目次

業界研究とは？	2
----------------	---

業界研究の目的	3
----------------	---

1. 気になる業界を見つける
2. 企業選びの軸を明確にする
3. 入社後のミスマッチを防ぐ

業界研究のポイント	6
------------------	---

【これで完結!】	7
-----------------	---

業界研究ノートを活用した研究法	
------------------------	--

業界研究とは？

業界研究とは、ある業界の情報を収集し、

正しく理解するために行う調査・プロセスです。

就活を本格的にスタートする前に行っておくことで、

自分の志望業界や企業選びの軸を明確化し、

本選考時にも役立ちます。

主に下記のような情報を調べることで、理解を深めます。

- ビジネスモデル
- 業界動向、トレンド理解
- 主要企業の把握



業界研究の目的

業界研究には、主に下記の3つの目的があります。

- ① 気になる業界を見つける
- ② 企業選びの軸を明確にする
- ③ 入社後のミスマッチを防ぐ

① 気になる業界を見つける

業界を知ることは、**自分自身が活躍したい業界(領域)を定め、具体的に進みたい企業を見つけるのに役立ちます**。また、各業界で活躍する人材に求められるスキルや能力を知ること、学生時代に備えることもできるでしょう。

一例

- ・ 安定した働き方を求めるなら → インフラ・金融業界
- ・ 成果を評価されたいなら → コンサル・広告・ITベンチャー業界
- ・ モノづくりが好きなら → メーカー業界

② 企業選びの軸を明確にする

自分自身が活躍したい業界が定まってくると、当該業界の企業群がわかります。

そこからさらに、「大切にしたい価値観に合う企業かどうか」、「入社後の活躍イメージが合っているか」といった軸で企業を絞ることで、今度は**企業選びの軸を定めることに役立つ**のです。

日本に存在する約368万社*1もの企業群から自分に合った企業を絞るのは大変なプロセスですので、この軸は納得のいく就活をするためにも、定めておきましょう。

一例

- IT業界でも、大手Sierとスタートアップでは働き方が違う
- 商社の中でも総合商社と専門商社では事業の幅が異なる
- メーカーでもBtoB(企業向け)とBtoC(消費者向け)で求められるスキルが違う

*1:参考資料…統計局 2021年6月1日度『我が国の事業所・企業の経済活動の状況』より

③ 入社後のミスマッチを防ぐ

業界特有の課題やトレンド、働き方といった業界に対して正しいイメージを持つことで、**入社後に「こうじゃなかった」といったミスマッチを防ぐことができます。**

一例

- 「思っていたより残業が多かった」→ 業界の働き方を事前に調べるべきだった
- 「仕事の内容がイメージと違った」→ 実際の業務を知るために OB・OG訪問をするべきだった

このように、業界研究を通じて「自分に合うかどうか」を見極めることが、後悔しない就職活動につながります。

また、本選考時に志望動機が明確に語れるようになるといったメリットもあるため、早めに就活に備えるために業界研究はスタートしておくといでしょう。

業界研究のポイント

業界研究をする際に、単に「業界の概要を知る」だけではなく、**自分がどの業界に合っているのか、どんな企業を選ぶべきなのかを見極めることが重要**です。

そのために、下記7つのポイントを押さえておきましょう。

1. 業界の基本情報を把握する
2. 業界の動向・トレンドを把握する
3. 主要企業の特徴を比較する
4. 業界特有の働き方・求められるスキルを知る
5. 業界の課題・今後の展望を理解する
6. 自分に合うかどうかを考える
7. 企業選びの軸を明確にする

これらは次のページの業界研究シートを活用し、空欄を埋めることで押さえることができます。

【これで完結!】

業界研究ノートを活用した研究法

	項目	説明	メモ
1	業界名	業界の名称(例:IT業界、金融業界)	
2	業界の概要	業界の基本的な概要・ビジネスモデル	
3	市場規模・成長性	市場規模の大きさや今後の成長性の予測	
4	主要企業	その業界の代表的な企業 (例:GAFA、メガバンクなど)	
5	業界のトレンド	最近の動向や注目されている技術・変化	
6	求められるスキル	その業界で求められる能力 (例:論理的思考、コミュニケーション能力)	
7	働き方の特徴	労働時間やキャリアの特徴、ワークライフバランス	
8	今後の課題・展望	業界が直面している課題や今後の成長の可能性	
9	自分に合うか(○/△/×)	自己分析の結果、自分に合うかどうか評価(○/△/×)	
10	志望理由メモ	志望動機や気づいたことを自由にメモする	

上記はあくまで一例ですが、自分なりに気になった情報を入力しておくことで、後々見返す際にも役立ちます。ぜひ、業界研究ノートを活用して、自分なりの優先順位を整理しておきましょう。